

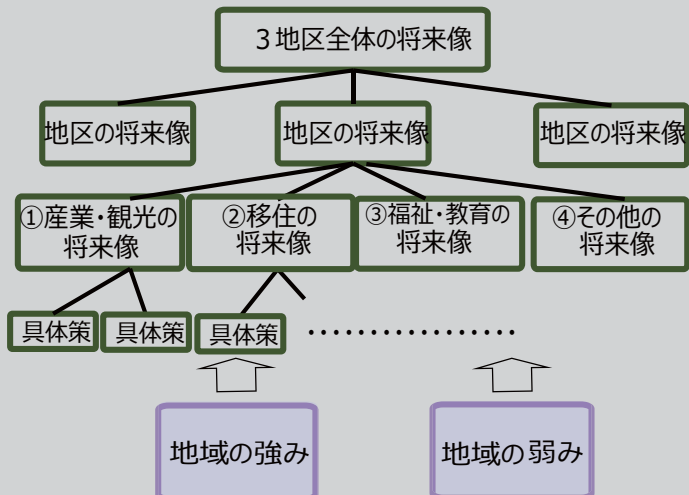
里海かわら版

平成30 [2018] 年

7 月発行

編集・発行 / 長浜・御畳瀬・浦戸地域活性化協議会事務局 ☎ 088-823-9407 mail : kc-010900@city.kochi.lg.jp

具体的な活性化策についての検討の進め方



「長浜・御畳瀬・浦戸地域活性化協議会」では、地域の現状・課題を把握した上で、人口減少への対応、地域振興という観点から、今後の活性化策について検討を行っています。

今年度は、現在までに各地区で出し合った地域の強み・弱みを踏まえながら、左図①～④の分野を4つの柱として、3地区及び各地区の目指すべき将来像と具体的な活性化策について検討していく予定です。

活性化策検討に向け動き始めました

地区部会の内容

5月と6月にかけて各地区において開催した地区部会では、地区の将来像と具体的な活性化策を検討するうえで、素材となるアイデアやキーワードについて意見出しを行いました。(左図参照)

7月以降は、各地区において順次、県立大学の実習を受け入れながら、若者の視点も取り入れた形で、地区の将来像を含めた活性化の方向性や具体的な解決策の検討を行う予定です。

地域の活性化に向けたアイデア・キーワード(一部抜粋)

長 浜	<ul style="list-style-type: none"> 観光ルートの整備(案内板の設置、史跡・物産めぐり) 拠点の整備(直売所、情報発信案内所) 伝統行事の発展(どろんこ祭り、長宗我部まつり) 移住定住の促進(空き家の活用) 福祉の充実(高齢者の生きがいづくり、バリアフリー化)
御 畳 瀬	<ul style="list-style-type: none"> 伝統行事を通じた地域住民の団結 御畳瀬小学校や御畳瀬漁港の利活用(大学キャンパス、水族館、レジャー拠点) 交流人口を増やす(大学との連携、イベントの開催) 地域住民の憩いの場づくり
浦 戸	<ul style="list-style-type: none"> 観光資源の活用(桂浜、龍馬像、浦戸城) 食の創造、PR(ちりめんじゃこ弁当、ドロメ、てんぷら) イベントの開催(自然体験、音楽祭、トライアスロン) 空き家の活用(移住希望者へ貸し出し、古民家カフェ) 特色ある学校づくり

各地区で連携が可能と考えられるアイデア(一部抜粋)

【産業・観光】 (歴史・文化)	<ul style="list-style-type: none"> SNS等を活用し各地区の史跡・名所の情報発信を行う 3地区の史跡、名所を巡る観光ルートの作成(散策・サイクリングロード整備・看板設置) お遍路との連携(空き家を遍路宿として活用)
【産業・観光】 (歴史・文化以外)	<ul style="list-style-type: none"> クルーズ船の観光客に地域に周遊してもらえらる仕組みをつくる サイクリングロード、浦戸湾の遊覧船という観光コンテンツと地域の食をつなげる(長浜のてんぷら・御畳瀬の干物・浦戸のドロメ)
【移住】	<ul style="list-style-type: none"> 若い世代に住んでもらうための住宅の整備 空き家を移住者に貸す仕組みづくりを行う(空き家調査等) 空き家情報を発信するとともに、移住希望者情報をいち早くキャッチする
【福祉・教育】	<ul style="list-style-type: none"> 防災福祉教育の機能を持たせた拠点を整備する 山と海の小学校の連携(中山間地域との連携)
【その他】	<ul style="list-style-type: none"> 3地区の若者が交流する機会(祭り等)をつくり、地域の担い手を育成する 御畳瀬小学校を活用し、イベントを行う

総会の内容

7月11日(水)に開催した平成30年度第1回総会では、各地区部会での検討内容の共有を図るとともに、各地区での連携が可能と考えられる項目について分野ごとにアイデア出しを行いました。



外部有識者による講演会を開催しました

平成30年6月3日(日)に東京都からの移住者である黒笹慈幾氏による講演会を開催しました。黒笹氏には、2月に地域を視察いただいた際に得た情報をもとに、地域の魅力を活かすための方策について、観光振興や地域の担い手育成等の観点からお話をいただきました。講演会の内容について一部ご紹介いたします。



講演会概要

◆浦戸湾の自然と歴史の再評価を！

- 浦戸湾は「高知の江戸前」。
豊かな魚資源、長い歴史文化、港町の豊かな暮らしがある。
- 高知の人は必ず「昔はこんなものじゃなかった。今は酷い」と言うが、今の状態でも十分素晴らしい。

◆陸からの発想で3地区共通の課題と打開策を考える

- 3地区それぞれに深い歴史と文化を持つ
- ⇒情報発信について観光という分野で有機的につなげられないか。(各地区で緊密な連携がとれないか。)

◆観光コンテンツを活かす2つの展開

【3地区それぞれの観光コンテンツ】

<長浜>

若宮八幡宮
かまぼこ工場
雪蹊寺

他

<浦戸>

浦戸小学校
山内家の海辺の別荘
稲荷大明神・受法寺

他

<御豊瀬>

干物屋・魚市場
厳島神社
県営渡船

他

- 海からのアプローチ(海発想の視点)
⇒浦戸と御豊瀬の観光拠点を船でつなぐ、長浜へ船+徒歩の新しい流れを作る。
- 食の記憶
⇒船と徒歩を組み合わせた地元ならではの食のイートインめぐり(立ち寄って飲食できる店舗をまわる取組)

◆地域再生、地域活性化の担い手をどう育成するか

- 地域の担い手としての子どもたちの脳に「地域の記憶」をどう植えこむか。
一番有効なのは自然体験。
- 3地区共通のキーワードは「海体験」
⇒子ども向け、外国人向け観光や国内観光にも使える自然体験メニューになる。

◆行政・他人頼みではない「みんなのプロジェクト」にする

- 「みんなのプロジェクト」があると地域力は確実にアップする。
- 大人たちがいまやるべきことは、子どもたちの「心のふるさと」づくり。
⇒学校で、地域で、自然体験の機会を提供する。

高知県立大学との連携事業内容

長浜

テーマ：どろんこ祭りを誇りにした地域づくりと交流人口の拡大を考える
日程：1日目：8/24(金) 2日目：8/25(土) 3日目：8/26(日)
どろんこ祭りに関わる地域の方から地域活性化(地域づくり)への想いや祭りの魅力を聞き取り、地域づくりや交流人口拡大へのアイデアを地域の方にサポートいただきながら大学生の視点で考える。

御豊瀬

テーマ：地域に住む女性らが活躍できる地域活性化策を考える
日程：1日目：9/9(日) 2日目：9/15(土) 3日目：9/16(日)
漁業に関わった方からの歴史背景の聞き取りや、地域に住む女性の意見の聞き取りを行い、地域活性化のアイデアを地域の方にサポートいただきながら大学生の視点で考える。

浦戸

テーマ：交流人口拡大に向けた「まちあるきコース」とその拠点づくりを考える
日程：1日目：8/19(日) 2日目：8/20(月) 3日目：8/21(火)
地域の方と一緒に「まちあるき」を行い、浦戸地区の交流人口拡大に繋がる魅力的な「まちあるきコース」の発掘と、その魅力を発信する拠点づくりについて、地域の方にサポートいただきながら大学生の視点で考える。

今回、高知県立大学と連携し、1回生の大学生が授業の一環で、長浜・御豊瀬・浦戸の3地域に入り活動します。(活動期間は各地域3日間) 街歩きや地域調べを行い、南海中の生徒達も地域調べに参加します。最終日には大学生が活動成果として若者の視点からの意見や考えを地域の方に向けて発表します。

連携事業の目的

次世代を担う若い世代に、地域の課題について関心を持っていただき、積極的に参画する意欲と能力を培うとともに、今後の活性化策検討の中で、若者の新たな視点を参考にすることを目的としております。

高知県立大学との連携事業を実施します

活性化協議会についてのご意見等をお聞かせください

事務局

高知市政策企画課(担当:木下・有光・出口)
〒780-8571 高知市本町 5-1-45

▶電話 088-823-9407 ▶FAX 088-823-9382

▶電子メール kc-010900@city.kochi.lg.jp

▶ホームページ <http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/2/kasseika.html>

